

大学名：東海学園大学

住所：愛知県みよし市福谷町
西ノ洞21-233

電話番号：0561-36-5555 (代表)

養成開始：2007年度



地域住民にポールウォーキングを指導する学生たち

健康運動指導士養成における我が大学の方針、目的や目指す方向性等

本学の教育理念である「共生（ともいき）」を健康・体力づくりの現場で発展させる取り組みを行っています。また、「運動指導＝ボランティア活動」として考えるのではなく、学生自身が運動指導の経済的価値あるいは金銭的価値をアピールできるような教育にも取り組み、その上で、①自治体や行政、②民間企業、③パーソナルトレーナー（個人事業主）として活躍できるような人材の育成を行っています。

健康運動指導士の養成方法やその特徴

在学中から健康運動指導士の資格取得にかかわる授業を履修しながら、民間のフィットネスクラブや自治体の運動施設で運動支援を行う学生も多いことが特徴です。カリキュラムは、トレーニング実習やスポーツ実習など、実践的に体得する科目も履修する体系となっています。また、インターンシップ（健康産業施設での現場実習）の現地指導員による事前ガイダンスや、事後の実習報告会での体験発表による知識と経験の体系化など、実践力を高めるカリキュラムの運営を行っています。さらに、「スポーツマネジメント論」「スポーツマーケティング論」「スポーツ政策論」等を開講し、将来、健康づくりを戦略的に国民に広く提供するための方法を習得し、運動指導とマネジメント力を兼ね備え、ビジネス界でも通用する人材の育成を行っています。

我が大学の魅力・PRポイント

みよし市や大口町との連携協定によって学生は研究活動を行い、体力医学会などの学会大会で発表したり、文部科学省主催のサイエンス・インカレにも出場しています。また、体力測定結果と健康診断項目や医療費との関係を調査するなど、研究活動を通じて運動や体力が健康や地域の財政に及ぼす影響について実践的に学んでいます。これらの活動は、自治体や企業における健康経営、運動にかかわるビジネス展開に対応できる人材の育成を視野に入れています。名古屋市との連携による健康づくり講座の「なごや健康カレッジ」、地域住民に対し学生が自発的に始めた「公園体操」、運動・スポーツへの参加と地域コミュニティの活性化を目的とした「文部科学省：スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」などの実践的な各種活動を通して、学内外で運動支援等の活動を長年継続しています。

その他（今後取り組みたいこと等）

愛知県と連携協定を結び、今後は社会の需要にも対応した実践活動と研究活動を通じた人材育成が期待できます。本学独自の地域的特徴や人的・物的資源を活かして、民間企業やNPO法人等との連携を積極的に行っていく予定です。